

プリンタードライバー KL-M20

Windows® 対応 取扱説明書

プリンタードライバーとは、パソコン画面に表示された文字や画像をプリンターに伝えるなど、プリンターを制御するためのソフトウェアのことです。

このプリンタードライバーは、KL-M20で、市販のアプリケーションから印刷したいときや、PCラベルユーティリティ(BA-P20)または本格ラベル印刷ソフト(BA-100)を使用するときが必要です。

本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

プリンタードライバーの詳細な
設定をしたいときは



プリンターの削除・プリンター名
の変更をしたいときは



アプリケーションからテープに
印刷したいときは



使用上のご注意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 「ラベルマイティ」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
- Windowsや他のアプリケーションに関する操作や概要につきましては、各々に付属の取扱説明書やヘルプをご覧ください。
- ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本取扱説明書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。

© Copyright 2005 CASIO COMPUTER CO.,LTD. All rights reserved.

同梱の「CD-ROM」について

■取扱上のご注意

- ディスクは両面とも、指紋、汚れ、キズなどを付けないようにお取り扱いください。
- ディスクが汚れたときは、メガネ拭きのような柔らかい布で内周から外周に向かって、放射状に軽く拭き取ってください。レコード用クリーナーや溶剤などは使用しないでください。
- ディスクは両面とも、鉛筆、ボールペン、油性ペンなどで文字や絵を描いたり、シールなどを貼らないでください。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは危険ですから絶対に使用しないでください。

■保管上のご注意

- 高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。
- ディスクは使用后、お買い上げのときにディスクが入っていたケースまたは市販のCDケースに入れて保管してください。



CD-ROMディスク対応機種以外では絶対に再生しないでください。音量によって、耳に障害を被ったり、スピーカーが破損する恐れがあります。

印刷時のご注意

- 印刷中にACアダプターやUSBケーブルをはずさないでください。

■テープ印刷時のご注意

- 印刷を始める前に、ネームランドテープカートリッジのテープ残量が十分にあることを確認してください。テープがなくなった状態でカットを繰り返すと、故障の原因となります。
- ゴムローラーにテープのカスなどのゴミが付着していたら、必ず取り除いてください。
- カッター部に指を入れたり、手を触れたりしないでください。「けがをするおそれ」や「本機の故障の原因」になります。
- ラベルの印刷色は、作成中のディスプレイ上の色ではなく、ご使用になるネームランド用テープの色になります。

はじめに

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいようお願いいたします。また、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

本書に関するご注意

- 本書に記載の事例を利用したことにより生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本プリンタードライバーの仕様ならびに本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書は、説明されているソフトウェアが完成する前に作成されます。このため、取扱説明書の作成終了後に行われたソフトウェア上の細部の変更、また画面の変更などに、一部対応しない部分がある可能性があります。ご了承ください。

- 本プリンタードライバーのインストール方法・動作環境は、別紙の「はじめにお読みください」をご覧ください。
- 本プリンタードライバーは、Windows®XP/2000 Professional/Me/98SE/98で動作するプログラムです。
Windows XPから印刷を行うときは、Windows XP Service Pack 1以降のものを使用する必要があります。詳しくはMicrosoft社のホームページなどをご覧ください。
- 機種構成によっては正常に動作しない場合があります。

目次

使用上のご注意	
同梱の「CD-ROM」について	
取扱上のご注意	
保管上のご注意	
印刷時のご注意	
はじめに	1
本書に関するご注意	1
プリンタードライバーを使える機種について	3
この取扱説明書の読みかた	3
本書での説明について	3
本書での表記について	4
こんなことができます	5
プリンタードライバーの詳細設定	6
プリンタードライバーの印刷設定を表示する	6
アプリケーションからプロパティを表示する	6
プリンタードライバーの設定項目について	7
プリンターの削除方法	15
プリンター名の変更方法	15
アプリケーションからテープに印刷する	16
Microsoft Wordからの印刷	16
■ヘッダー・フッター設定	18
■余白の設定について	19
Microsoft Excelからの印刷	20
■ヘッダー・フッター設定	22
■Microsoft PowerPointからの印刷	22
ペイントからの印刷	23
ラベルマイティ3/4/5からの印刷	25
エラーメッセージ一覧	26

プリンタードライバーを使える機種について

■テープを印刷できる機種

本プリンタードライバーでは、次の機種でテープを印刷することができます。

KL-M20

この取扱説明書の読みかた

本書での説明について

■Windows®の操作説明はしていません

本書はKL-M20用プリンタードライバー(以後本プリンタードライバーと記述いたします)の取扱説明書です。本プリンタードライバーは、XP/2000 Professional/Me/98SE/98(以後Windowsと記述します)上で動作するプリンタードライバーであり、本書では、Windowsそのものの操作については説明していません。

本書は、本プリンタードライバーをご利用になるお客様が、少なくとも以下のようなWindowsの基本操作に習熟されていることを前提として書かれています。

- クリック、ダブルクリック、右クリック、ドラッグ、ドラッグ・アンド・ドロップなどのマウス操作
- マウスによるメニュー操作
- キーボードによる文字入力
- Windowsに共通のウィンドウ操作

これらのWindowsの基本的な操作や、各アプリケーションの操作につきましては、お手持ちのパソコンまたはそれぞれの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

■本書での名称について

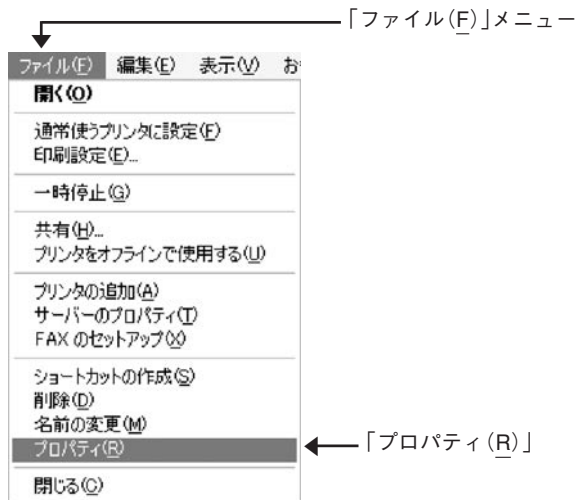
本書では、KL-M20本体のことを「プリンター」と呼びます。

本書での表記について

■メニュー/ボタン操作の表記について

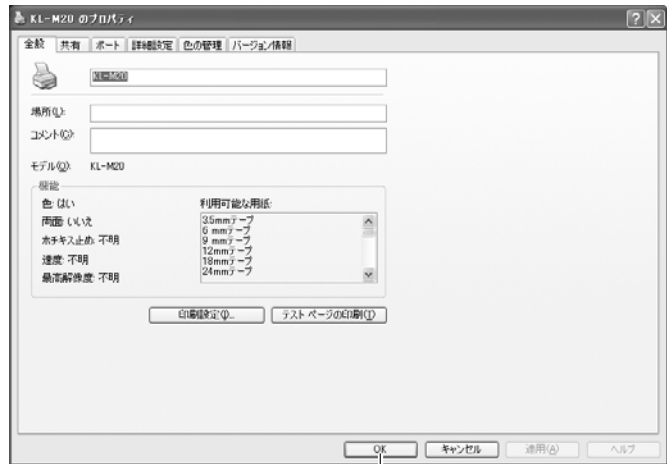
本書でのすべての操作は、マウスを使用することを前提としています。

- メニューあるいはコマンドの操作方法は、次のような形で表記しています。



「ファイル(F)」から「プロパティ(R)」をクリックします。

- ダイアログボックス中のボタンは次のような形で表記します。



[OK]をクリックします。

■表示画面について

- 本書記載の画面は、Windows XPを例に説明しております。その他のOSでは、本書記載の画面と異なることがあります。

こんなことができます

- 本プリンタードライバーは、通常お使いになっているアプリケーションで作成したデータを「KL-M20」で印刷するためのプリンタードライバーです。プリンターの状況を表示するプリンターモニターとしてもお使いいただけます。ラベルプリンター専用のアプリケーションを使用しないで、テープに印刷することができます。

■ CZ-005 開発資料

企画書・マーケティング資料
仕様書

- プリンターで使用する専用の用紙サイズを、通常お使いのアプリケーションで編集することができます。



プリンタードライバーの詳細設定

ここでは、プリンタードライバーの詳細設定のしかたを説明します。

重要 PCラベルユーティリティ(BA-P20)または本格ラベル印刷ソフト(BA-100)を使用するとき、この設定は必要ありません。

プリンタードライバーの印刷設定を表示する

■WindowsXPの場合

1 Windowsの[スタート]ボタンから、[コントロールパネル]、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタとFAX]の順にクリックします。(OSの設定によっては、[コントロールパネル]や[プリンタとその他のハードウェア]をクリックしなくても[プリンタとFAX]をクリックできることがあります。)

2 「プリンタとFAX」フォルダ内の、インストールを行った機種をクリックします。次に右クリックして表示されるメニューリストから「印刷設定(E)」をクリックします。「印刷設定」画面が表示されます。



■Windows Me/98SE/98の場合

Windowsの「スタート」をクリックし、「コントロールパネル」の中の「プリンタ」をダブルクリックして、インストールを行った機種をクリックします。次に右クリックして表示されるメニューリストから「プロパティ」をクリックして表示される「プロパティ」ダイアログの「基本設定」タブをクリックして詳細設定画面を表示します。

■Windows 2000 Professional の場合

Windowsの「スタート」をクリックし、「コントロールパネル」の中の「プリンタ」をダブルクリックして、インストールを行った機種をクリックします。次に右クリックして表示されるメニューリストから「印刷設定(E)」をクリックします。「印刷設定」画面が表示されます。

アプリケーションからプロパティを表示する

- アプリケーションからの設定については16ページの「アプリケーションからテープに印刷する」で、いくつかのアプリケーションの例をそれぞれ説明しています。

1 起動中のアプリケーションの「ファイル(F)」から「印刷(P)」をクリックします。

- 2 「印刷」ダイアログ内の「プリンタの選択」からインストールを行ったプリンターを選択し、[プロパティ(R)]または[詳細設定]をクリックします。
「プロパティ」画面が表示されます。



- この他にも[ファイル]－[ページ設定]などでプロパティを表示することができます。

プリンタードライバーの設定項目について

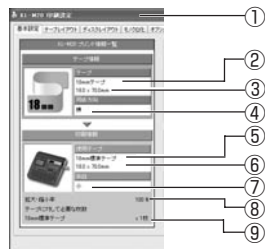
本プリンタードライバーは使用する用途に合わせて、機能を設定することができます。ここでは、[プロパティ]や[印刷設定]で表示される各タブの設定について説明します。

プリンタードライバーでは、「基本設定」、「テーブルイアウト」、「ディスクレイアウト」、「モノクロ化」、「オプション」、「メンテナンス」、それぞれの画面に共通の情報エリアがあります。この情報エリアには、共通情報として、プリンター情報とテープまたはエリア(ディスク)情報が表示されます。

- KL-M20iにはディスク印刷機能がないため、ディスク情報は表示されません。

■ 共通情報

現在の設定の状況が表示されます。



①	選択プリンター表示	選択したプリンター名を表示します。 ここでのプリンター名は、プリンタードライバー名ではなく機種名を表示します。
②	テープ名	選択したテープの種類を表示します。テープ選択(T)で選択したテープのサイズに対して、幅や長さの変更が行われたときは、[Free]が表示されます。
③	テープサイズ	テープのサイズを表示します。テープ選択グループボックスの「幅(W)」や「長さ(Q)」に設定された値を表示します。
④	向き	選択したテープの方向を表示します。
⑤	使用テープ名	選択したテープの種類を表示します。
⑥	使用テープサイズ	選択したテープのサイズを表示します。
⑦	余白値	選択したテープの余白値を表示(大・中・小)します。
⑧	倍率	選択したテープサイズの使用テープに対する変倍率を表示します。
⑨	枚数	テープ(編集用紙)に対して、装着する用紙(テープ)で印刷するにあたって必要な枚数表示します。

■基本設定

「テープ選択」、「用紙方向」、「印刷部数」の基本的な設定をします。



重要 [テープ選択]で用紙を指定するときにはアプリケーション側で指定した用紙サイズと[テープ選択(T)]で指定する用紙サイズは必ず同じにしてください。異なったサイズを指定した場合は、正しく印刷されないことがあります。

- アプリケーションからの設定については16ページの「アプリケーションからテープに印刷する」で、いくつかの例を説明しています。


①	テープ選択(T)	使用できるテープの選択ができます。
②	幅(W)、長さ(Q)	指定されているテープに対して、幅と長さのサイズを変更します。ただし変更内容は保存されませんので、新しいテープサイズの追加を行うときは、[カスタムテープ]で新しいテープサイズを登録してください。
③	カスタムテープ(F) ...	カスタムテープ登録ダイアログを表示します。新しいサイズのテープを作成し、テープ選択リストに追加できます。(14ページ参照)
④	横(B)、縦(L)	選択したテープの用紙方向を指定できます。ただし、用紙方向を変更しても、実際に印刷される方向は固定されており、印刷範囲内のテキストや画像の方向は変更されません。
⑤	部数(C)	印刷部数を指定します。
⑥	部単位で印刷(E)	1部ずつ印刷するときチェックをつけます。
⑦	変更前の設定に戻す(X)	「基本設定」タブ内で設定した内容を元の状態に戻します。

■テーブルレイアウト

アプリケーションで作成したデータを実際のテープに印刷する際の、「拡大・縮小」の設定をします。



① 等倍(E)	[用紙サイズ]を[印刷サイズ]に対して100%で印刷します。[用紙サイズ]が[印刷サイズ]より大きい場合は、分割して印刷します。
② 自動フィット 拡大・縮小(F)	[用紙サイズ]を[印刷サイズ]に合わせ自動的に拡大/縮小して印刷します。
③ 倍率指定(Z)	[用紙サイズ]を拡大/縮小して[印刷サイズ]に印刷します。1%から400%の範囲で任意に指定することができます。ただし、拡大/縮小を行っても、[用紙サイズ]が[印刷サイズ]より大きいときは、分割して印刷します。

④ 使用テープ(T)	印刷に使用する(プリンターにセットする)テープを指定します。 ● 用紙サイズ通り アプリケーションの用紙指定そのままに印刷します。アプリケーションで指定したサイズのテープがプリンターに装着されていないと、テープエラーになります。 ● 各個別印刷サイズ アプリケーションの用紙指定に関わらず、ここで指定したテープに印刷します。ここで指定したテープがプリンターに装着されていないと、アプリケーション側で用紙を設定してもテープエラーになります。
⑤ 分割方向	[用紙サイズ]が[印刷サイズ]より大きいときは、分割して印刷されます。そのときの分割される方向(横(S)/縦(R))を指定します。[横]指定にすると印刷に用いる用紙方向が縦方向となり、横方向に分割されます。 
⑥ 変更前の設定に戻す(X)	「テーブルレイアウト」タブ内で設定した内容を元の状態に戻します。



重要 [印刷サイズ]を指定するときは

[印刷サイズ]に合わせて本体側にセットされているテープを入れるか、もしくは本体にセットされているテープのサイズに合わせて[印刷サイズ]を指定してください。
指定した[印刷サイズ]と本体にセットされているテープのサイズが一致しないときは、印刷することができません(印刷時にエラーメッセージが表示されます)。

■ ディスクレイアウト

- KL-M20にはディスク印刷機能がないので使用できません。
エリア(ディスク)の印刷パターンを設定します。[テープ選択(T)]で「カスタム1」または「カスタム2」を選んだときは、印刷パターンが設定できます。
なお、[テープ選択(T)]でテープを選択しているとき、および「カスタム1」「カスタム2」以外を選択しているときは、前回の編集内容を保持したままグレイ表示となり、印刷パターンを設定することはできません。



①	上エリア(T) 下エリア(B) 左エリア(L) 右エリア(R)	各エリアの印刷パターンを設定できます。 ●通常 エリアに対して、通常の方角で印刷します。 ●回転 エリアに対して、180°回転して印刷します。 ●印刷なし エリア内のデータを印刷しません。
②	変更前の設定に戻す(X)	「ディスクレイアウト」タブ内で設定した内容を元の状態に戻します。

■モノクロ化

カラーの画像等をプリンターで印刷するときの、「イメージの明るさ」と「モノクロ化の方法」の設定をします。

(カラー画像はプリンターで印刷するときにはモノクロで印刷されます)。



①	イメージの明るさ(B)	画像等を印刷するときの明るさを調節します。
②	モノクロ化の方法(M)	画像等を印刷するときの画質を指定します。 ●パターン1(1) 一定のパターンに沿って印刷します。 ●パターン2(2) 一定のパターンに沿って[パターン1]の場合より細かく印刷します。 ●誤差拡散(3) [パターン]ほど目立たないランダムなパターンに沿って印刷します。 ●なし(完全2値)(4) 完全な白黒で印刷します。
③	変更前の設定に戻す(X)	「モノクロ化」タブ内で設定した内容を、元の状態に戻します。

重要 「明るさ」は画像等の階調を変えるものであり、実際の印刷濃度とは異なります。実際の印刷濃度の濃さを変える場合は、[オプション]タブの[印刷濃度(D)]で調節してください。

- [パターン]、[誤差拡散]、[完全2値]の違いについて
 [パターン]と[誤差拡散]どちらのモノクロ設定も、カラー写真を白黒のコピーをしたときと同じように、濃い色は黒っぽく、薄い色は白っぽく印刷されます。ただし[パターン]に比べ[誤差拡散]のほうが、より美しい印刷結果となります。逆に[完全2値]は、特定の値を境に、濃い色はすべて黒に、薄い色はすべて白にして印刷するため、コントラストの強い仕上がりになります。

パターン1



パターン2



誤差拡散



完全2値



■オプション

「印刷濃度」、「テープ印刷設定」の設定をします。

- KL-M20にはディスク印刷機能がないため、「ディスク印刷設定」を使用することはできません。



①	印刷濃度(D)	印刷の濃さを調節します。印刷してもかすれたり濃く印刷されたりするときに調整してください。 [薄い]：薄く印刷する。 [濃い]：濃く印刷する。
②	印刷開始時に、ディスクトレイを自動で開ける(E)	チェックボックスにチェックをつけると印刷開始時にディスクトレイが自動的に開きます。*
③	自動回転印刷をする(F)	チェックボックスにチェックをつけると印刷エリアの位置に合わせてディスクを自動回転して印刷します。*
④	エリア毎に、印刷確認メッセージを表示する(G)	チェックボックスにチェックをつけると自動回転印刷をする際に、印刷エリアを印刷するたびに確認のメッセージを表示します。*

⑤	テープカット(R)	オートカッターを装備している機種をご使用になる場合、テープカットの種類を指定します。ただし、お使いになる機種によっては指定できない場合があります。 [カットなし]：オートカットされません。 [フルカットのみ]：1枚印刷するごとにフルカットされます。 [ハーフカット・フルカット]：1枚印刷するごとにハーフカットされ、全指定枚数の印刷終了後にフルカットされます。
⑥	余白(S)	テープの長さに対する両サイドの余白を指定します。ただしお使いになる機種にオートカッターが装備されていないときは、[余白]の指定をすることはできません。 [小]：約3mmずつ余白が取られます。 [中]：約10mmずつ余白が取られます。 [大]：約19mmずつ余白が取られます。
⑦	テープを節約する(N)	印刷テープの空白の部分を実際にカットして印刷します。 チェックボックスのチェックをはずすと、[テープ選択]で指定された長さに関わらず、末尾の文字の入力されていない部分(空白部分)を無視して短く印刷されます。 ・チェックをつけたとき <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;">ABCDE</div> ・チェックをはずしたとき <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px 0;">ABCDE</div>

⑧	テープカットする ために印刷を途中 で停止する(C)	チェックボックスにチェックをつけると、 オートカッターが装備されていないプリン ターでは印刷ごとに印刷を停止します。*
⑨	裏書き印刷をする (M)	テープの裏から見ると、正常の印刷結果にな るように反転して印刷します。 別売の布転写テープに印刷するときには、こ の機能をお使いください。詳しくは布転写 テープに付属の取扱説明書をご覧ください。
⑩	変更前の設定に戻す (X)	「オプション」タブ内で設定した内容を元の状 態に戻します。

* この指定はKL-M20では無効です。

■メンテナンス

接続したプリンターに装着されたテープの情報を確認したり、ディスク
トレイの開閉やテープ送り・カットなどの操作を行うことができます。

- KL-M20には、ディスク印刷機能がないのでトレイの開閉はできま
せん。



①	接続したプリン ターのテープの種 類を確認する(G)	左のボタンをクリックすると、接続されてい るプリンターに装着されたテープの種類が下 のテープ情報表示部に表示されます。
②	テープ情報表示部	プリンター情報を取得したとき、次の情報が 表示されます。 ・ プリンターに装着されたテープの種類 ・ プリンターに装着されているテープの名称
③	テープ送りする (D)	左のボタンをクリックすると、接続されてい るプリンターのテープが送り出されます。
④	テープカットする (C)	左のボタンをクリックすると、接続されてい るプリンターのテープがカットされます。

■カスタムテープ登録

新しいサイズのテープを作成して、「基本設定」画面の[テープ選択(T)]リストに追加する設定をします。

ここで作成したテープ(レイアウト)を削除したり、定義した内容を更新したりできます。

この画面を表示するには、「基本設定」画面の「テープ選択(T)」の[カスタムテープ(F)...]をクリックします。



⑥	追加(A)	ここで作成したテープを登録し、[テープ選択]のリストに追加します。
⑦	更新(U)	現在選んでいるテープの定義内容を更新します。
⑧	削除(D)	現在選んでいるテープを削除します。

①	テープ名(F)	作成するテープサイズの名前を入力します。 ここで入力された名前は「基本設定」画面のテープ選択リストに表示されます。作成したテープを選択するときは、▼をクリックします。
②	幅(W), 長さ(Q)	作成するテープの幅と長さを指定します。
③	用紙方向 横(L), 縦(P)	作成するテープの方向を指定します。 「基本設定」画面一覧に表示するときに、使用するテープ(用紙の方向)を横/縦に指定します。
④	使用テープ(R)	印刷する用紙(テープ)のサイズを設定します。
⑤	分割方向 横(T), 縦(S)	分割する方向を横/縦にします。

プリンターの削除方法

- 1 Windowsの[スタート]ボタンから、[コントロールパネル]、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタとFAX]の順にクリックします。(OSの設定によっては、[コントロールパネル]や[プリンタとその他のハードウェア]をクリックしなくても[プリンタとFAX]をクリックできることがあります。)
「プリンタとFAX」画面が表示されます。
- 2 削除したいプリンター名またはプリンターアイコンをクリックして選択します。
- 3 プリンターが選択された状態で、右クリックして表示されるメニューリストから「削除(D)」をクリックします。
- 4 [はい(Y)]をクリックします。

プリンター名の変更方法

プリンターを複数台接続して使用する場合には、プリンターにセットされているテープカートリッジをプリンター名にすると、識別しやすくなり便利です。ここでは、プリンター名の変更手順を説明します。

- 1 Windowsの[スタート]ボタンから、[コントロールパネル]、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタとFAX]の順にクリックします。(OSの設定によっては、[コントロールパネル]や[プリンタとその他のハードウェア]をクリックしなくても[プリンタとFAX]をクリックできることがあります。)
「プリンタとFAX」画面が表示されます。
- 2 プリンター名を変更したいプリンターをクリックして選択します。次に右クリックして表示されるメニューリストから「名前の変更(M)」をクリックします。
ここでは、例として18mm白テープがセットされているプリンターを選びます。
- 3 名前を変更します。
ここでは、例として「18mm Wh」と変更します。

アプリケーションからテープに印刷する

Microsoft Wordからの印刷

Microsoft Word 2003から印刷する例で説明します。印刷には、CD-ROMに収録してあるフォーマットを使用してテープを作る方法と、新規に文書を作成してテープを作る方法があります。

重要 実際にラベル印刷をするためには、指定した幅のテープカートリッジ(ファンシーテープ以外)がプリンターにセットされている必要があります。

■CD-ROM内のフォーマットを使用して印刷する

1 「ファイル(F)」から「開く(O)」をクリックし、「NAMELAND DISCBIZ SOFTWARE」CD-ROMの「Samples」フォルダ内の「TAPE」フォルダの中にあるファイルを開きます。
ここでは、例として「18ファイル縦-商品ラインナップ」を選びます。

内蔵されている、縦書きラベル印刷用文書が表示されます。



2 「ファイル(F)」から「印刷(P)」をクリックして、「プリンタ名(N)」からKL-M20を選択します。



3 「プロパティ(P)」をクリックします。

4 ページ設定に合わせて、プリンターのプロパティの「基本設定」タブ、「オプション」タブを設定します。

●プロパティの設定例

「基本設定」タブ
幅：18.0mm
長さ：180.0mm
印刷方向：縦

「オプション」タブ
テープカット：ハーフカット・フルカット
余白：小



- ・ テープの種類や印刷の方向によって余白の大きさが変わります。詳しくは19ページの「余白の設定について」をご参照ください。

5 設定が終わったら、[OK]をクリックして印刷ダイアログに戻り、[閉じる]をクリックして編集画面に戻ります。

6 例として、「2004」と表示されている部分をクリックし、テキストボックスを編集状態にします。

7 「2004」を削除して「平成16」と入力し、位置と文字サイズを修正します。



8 「ファイル(F)」から「印刷プレビュー(V)」をクリックして、プレビュー画面を表示させます。

9 プレビュー画面でレイアウトを確認後、「ファイル(F)」から「印刷(P)」をクリックします。

10 [OK]をクリックします。

■新規に作成して印刷する

1 「ファイル(F)」から「新規作成(N)」をクリックします。

2 「ファイル(F)」から「印刷(P)」をクリックし、「プリンタ名(N)」から使用するプリンターを選択します。

3 [プロパティ(P)]をクリックします。

4 「基本設定」タブをクリックし、使用するテープを設定して[OK]をクリックします。

5 [閉じる]をクリックします。

6 「ファイル(F)」から「ページ設定(U)」をクリックします。4で設定した内容でページの設定をします。

7 「用紙」タブをクリックして、「用紙サイズ(R)」から使用するテープを指定します。

8 「余白」タブをクリックします。

9 余白の値を設定します。
18mmテープを余白小で使用するときには次のように設定します。

- 横書き
上(T) : 1mm 下(B) : 1mm
左(L) : 3mm 右(R) : 3mm
- 縦書き
上(T) : 3mm 下(B) : 3mm
左(L) : 1mm 右(R) : 1mm



- テープの種類や印刷の方向によって余白の大きさが変わります。
詳しくは19ページの「余白の設定について」をご参照ください。

10 [OK]をクリックし、「ページ設定」ダイアログを閉じます。

11 印刷する文字を入力します。

12 「ファイル(F)」から「印刷(P)」をクリックします。

13 [OK]をクリックします。

ヘッダー・フッター設定

Microsoft Wordから印刷を行う場合に、ヘッダー・フッターの設定が行えます。テープ印刷の場合は通常用の紙に比べて印刷領域が制限されますので、ヘッダー・フッター設定をはずして印刷してください。詳しくは、Microsoft Wordの取扱説明書をご参照ください。

余白の設定について

プリンターのプロパティで設定したテープの幅と長さは、そのまま、アプリケーションで設定する用紙サイズの縦と横のサイズになります。

余白の設定は、プリンタードライバーの印刷設定では「小」、「中」、「大」と設定しますが、アプリケーションでは数値を入力して設定をします。

また、使用するテープの幅により、設定する余白の数値が異なります。

- 標準テープ(3.5/6/9/12/18/24mm幅)をご使用の場合
表1・表2を参考に余白を設定してください。



標準テープ種類(3.5/6/9/12/18/24mm)とAの値(表1)

機種名 テープの種類	A (mm)
3.5mm	0.75
6mm	1.00
9mm	1.00
12mm	1.00
18mm	1.00
24mm	4.00

標準テープの余白設定とBの値(表2)

機種名 余白設定	B (mm)
小	3
中	10
大	19

●Microsoft Wordでの余白設定の例

「18mm標準テープ/余白小/印刷の向き：横」にプリンターのプロパティで設定された場合、次のようになります。

余白上下は表1 より、1mm

余白左右は表2 より、3mm

Microsoft Excelからの印刷

ここでは、Microsoft Excel 2003から印刷する例で説明します。印刷には、CD-ROMに収録してあるフォーマットを使用してテープを作る方法と、新規にブックを作成してテープを作る方法があります。

重要! 実際にはテープ印刷をするためには、指定した幅のテープカートリッジ(ファンシーテープ以外)がプリンターにセットされている必要があります。

■CD-ROM内のフォーマットを使用して印刷する

1 「ファイル(F)」から「開く(O)」をクリックし、「NAMELAND BIZ SOFTWARE」CD-ROMの「Samples」フォルダ内の「TAPE」フォルダの中にあるファイルを開きます。

ここでは、例として「vhs背-開発資料」を開きます。内蔵されている、ラベル印刷用文書が表示されます。

	A	B
1	■ CZ-005 開発資料	企業書・資料の資料 仕様書
2		
3	■ CZ-006 開発資料	企業書・資料の資料 仕様書
4		
5	■ CZ-007 開発資料	企業書・資料の資料 仕様書
6		
7	■ CZ-008 開発資料	企業書・資料の資料 仕様書
8		
9	■ CZ-009 開発資料	企業書・資料の資料 仕様書
10		

2 「ファイル(F)」から「印刷(P)」をクリックし、「名前(M)」からKL-M20を選択します。



3 [プロパティ(R)]をクリックします。

4 ページ設定に合わせて、プリンターのプロパティの「基本設定」タブ、「オプション」タブを設定します。

●プロパティの設定例

「基本設定」タブ

テープ選択：VHS背

幅：18.0mm

長さ：148.0mm

印刷方向：横

「オプション」タブ

テープカット：ハーフカット・フルカット

余白：小



・テープの種類や印刷の方向によって余白の大きさが変わります。詳しくは19ページの「余白の設定について」をご参照ください。

5 設定が終わったら、[OK]をクリックして印刷ダイアログに戻り、[閉じる]をクリックします。

必要に応じてテープ内容を編集します。

- 6 印刷するセルを選択し、「ファイル(F)」から「印刷範囲(T)」、「印刷範囲の設定(S)」をクリックします。
ここでは、A1セルからB2セルまで選択します。

- 7 「ファイル(F)」から「印刷プレビュー(V)」をクリックします。

- 8 プレビュー画面でレイアウトを確認後、「印刷(T)」をクリックします。

- 9 [OK]をクリックします。

■新規に作成して印刷する

- 1 「ファイル(F)」から「新規作成(N)」をクリックし、新しいブックを作成します。

- 2 「ファイル(F)」から「ページ設定(U)」をクリックします。

- 3 「ページ」タブをクリックし、「印刷の向き」を指定します。

- 4 「余白」タブをクリックし、余白の値を設定します。
●余白の設定例

上(T) : 0.1 下(B) : 0.1
左(L) : 0.3 右(R) : 0.3
ヘッダー(A) : 0
フッター(E) : 0



- テーブルの種類や印刷の方向によって余白の大きさが変わります。詳しくは19ページの「余白の設定について」をご参照ください。

- 5 [OK]をクリックし、「ページ設定」ダイアログを閉じます。

- 6 「ファイル(F)」から「印刷(P)」をクリックし、「名前(M)」からKL-M20を選択します。

- 7 [プロパティ(R)]をクリックします。

8 「基本設定」タブおよび「オプション」タブをクリックし、使用するテープを設定して[OK]をクリックします。

●プロパティの設定例

「基本設定」タブ

テープ選択：18mmテープ

用紙方向：横

「オプション」タブ

余白：小

テープカット：ハーフカット・フルカット

9 設定が終わったら、「OK」をクリックして「印刷」ダイアログに戻り、「閉じる」をクリックします。

10 印刷するデータを入力します。

11 「ファイル(F)」から「印刷(P)」をクリックします。

12 [OK]をクリックします。

ヘッダー・フッター設定

Microsoft Excelから印刷をする場合に、ヘッダー・フッターを設定できます。テープ印刷の場合は通常の用紙に比べて印刷領域が制限されますので、ヘッダー・フッター設定をはずして印刷してください。詳しくは、Microsoft Excelの取扱説明書をご参照ください。

Microsoft PowerPoint®からの印刷

PowerPointには、印刷用紙に応じて自動的にサイズを調整して印刷する機能があります。この機能を使って編集・印刷をしてください。

実際の手順は、以下のようになります。

1. 「ファイル(F)」から「ページ設定(U)」をクリックします。
2. 「スライドのサイズ指定(S)」で「ユーザー設定」を選択します。
3. 「幅(W)」：「高さ(H)」をプリンターで印刷するラベルのサイズに対して、10倍の数値にして入力します。
18mm幅のラベルテープの場合は、実際のテープサイズが18mm(幅)×70mm(長さ)であれば[幅(W)：]を18cm、[高さ(H)：]を70cmでスライドサイズ(用紙の向き スライド：横)を設定します。
4. 変更されたスライド用紙にテキストを入力します。

プリンターは、KL-M20に設定して、プロパティも実際のテープの書式を設定すれば、PowerPointから印刷する際に用紙サイズを合わせて印刷を行うことができます。PowerPointの印刷ダイアログにある「用紙サイズに合わせて印刷する」にチェックをつければ、自動的にサイズが調整されて印刷され、元のテープサイズで印刷されます。

ペイントからの印刷

ペイントからの印刷では、CD-ROMに収録してあるフォーマットを使用してテープを作る方法と、新規に画像データを作成してテープを作る方法があります。

重要 実際にテープ印刷をするためには、指定した幅のテープカートリッジ(ファンシーテープ以外)がプリンターにセットされている必要があります。

■CD-ROM内のフォーマットを使用して印刷する

1 「ファイル(F)」から「開く(O)」をクリックし、「NAMELAND BIZ SOFTWARE」CD-ROMの「Samples」フォルダ内の「TAPE」フォルダの中にあるファイルを開きます。

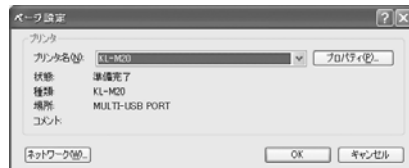
ここでは例として「ファイル背-FILE_FAX記録簿.bmp」を開きます。指定した画像ファイルが表示されます。



2 「ファイル(F)」から「ページ設定(U)」をクリックします。



3 「プリンタの設定(P)」をクリックし、「プリンタ名(N)」からKL-M20を選択します。



4 「プロパティ(P)」をクリックし、ページ設定に合わせてプリンターのプロパティの「基本設定」タブ、「オプション」タブを設定します。

●プロパティの設定例

「基本設定」タブ

テープ選択：ファイル背表紙(小)

用紙方向：縦

「オプション」タブ

余白：小

テープカット：ハーフカット・フルカット

5 設定が終わったら[OK]をクリックし、プリンターを選択するダイアログに戻り[OK]をクリックします。

6 「ページ設定」ダイアログで、余白の値を設定します。

●余白の設定例

左(L)：1ミリ 右(R)：1ミリ

上(T)：3ミリ 下(B)：3ミリ

・テープの種類や印刷の方向によって余白の大きさが変わります。詳しくは19ページの「余白の設定について」をご参照ください。

7 設定が終わったら[OK]をクリックします。

8 ペイントの編集画面で編集します。

9 編集が終わったら、「ファイル(F)」から「印刷(P)」をクリックします。

10 「印刷(P)」をクリックします。

■新規に作成して印刷する

ここでは、プリンター「KL-M20」を使用して、18mmテープで横方向の長さ70mm、「余白：中」のラベルを作成するときの操作例を説明します。

1 「ファイル(F)」から「新規(N)」をクリックします。

2 「ファイル(F)」から「ページ設定(U)」をクリックします。

3 「プリンタの設定(P)」をクリックします。
「ページ設定」ダイアログ(プリンター設定)が表示されます。

4 「プリンタ名(N)」からKL-M20を選択します。

5 「プロパティ(P)」をクリックします。

6 「基本設定」タブをクリックし、使用するテープのプロパティを設定します。

●プロパティの設定例

「基本設定」タブ

テープ選択：18mmテープ

用紙方向：横

「オプション」タブ

余白：中

テープカット：ハーフカット・フルカット

7 設定が終わったら[OK]をクリックし、プリンターを選択するダイアログに戻り、[OK]をクリックします。

8 ページ設定ダイアログで余白の値を設定します。

●余白の設定例

左(L)：10ミリ 右(R)：10ミリ

上(T)：1ミリ 下(B)：1ミリ

- ・テープの種類や印刷の方向によって余白の大きさが変わります。詳しくは19ページの「余白の設定について」をご参照ください。

9 設定が終わったら[OK]をクリックします。

10 「変形(T)」から「キャンパスの色とサイズ(A)」をクリックし、値を設定します。

●設定例

単位：cm

幅：5

高さ：1.6

11 設定が終わったら[OK]をクリックします。

12 ペイントの編集画面でデータを入力します。

13 データの入力が終わったら、「ファイル(F)」から「印刷(P)」をクリックします。

14 「印刷(P)」をクリックします。

ラベルマイティ3/4/5からの印刷

KL-M20で、ラベルマイティ3/4/5からテープ印刷するためには、あらかじめ以下のいずれかの方法で「用紙情報」をダウンロードする必要があります。

- ・ラベルマイティ3/4/5のガイドメニューから「最新ラベル情報Download」ボタンをクリックし、用紙情報をダウンロードする。
- ・[<http://www.justsystem.co.jp/label/>]へアクセスし、用紙情報をダウンロードする。
- ・[<http://www.casio.co.jp/EZ-USB/labelmighty/>]へアクセスし、用紙情報をダウンロードする。

ラベルマイティ3/4/5から印刷する手順は、以下のようになります。

- 1 Windowsの[スタート]ボタンから、[コントロールパネル]、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタとFAX]の順にクリックします。(OSの設定によっては、[コントロールパネル]や[プリンタとその他のハードウェア]をクリックしなくても[プリンタとFAX]をクリックできることがあります。)
- 2 KL-M20を右クリックし、表示されるメニューの中から「通常使うプリンタに設定」を選びます。
- 3 ラベルマイティの「用紙の選択」ダイアログボックスで、ラベルプリンターの機種名と用紙を選びます。
表示されている用紙品番は、「機種名」と「テープ種類」を表しています(詳しくは【インフォメーション】に記載されている内容をご確認ください)。
- 4 ラベルマイティ上で必要な編集をして、印刷します。

- ・KL-M20では、余白の設定を「小」でご使用ください。
- ・余白の設定が「小」のときにテープの長さを約29mm以下に設定すると、オートカットされませんので、その場合にはハサミなどでカットしてください。
- ・印刷画面設定でプリンターをKL-M20に変更したときに、用紙サイズが正しく設定されていないと、自動的に変更するためのメッセージが表示されます。

その他、ラベルマイティの詳しい操作方法については、ラベルマイティの取扱説明書をご覧ください。

●印刷時の留意点

- ・印刷用データは、印刷領域より小さめに作成して印刷してください。
- ・印刷領域すべてに印刷することは保証できません。
- ・プリンターの印刷解像度は、KL-M20では約203dpiに設定してください。

エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	対処方法
エラーが発生しました	印刷する際に問題が発生しました。
通信エラーが発生しました	プリンターとパソコンが接続されていることを確認してください。または、プリンターの電源が入っていることを確認して、もう一度印刷を実行してください。
エラーが発生しました	プリンターの状態が異常です。一旦電源を入れなおしてください。その後、印刷をやり直してください。 プリンターの電源電圧が異常です。電池が消耗しているかもしれません。プリンターの電池を交換するか、電源アダプターを接続して印刷してください。 USBドライバーが正常にインストールされているかどうかを確認してください。
印刷中止が指定されました	印刷がキャンセルされました。
確認してください	プリンターのヘッド温度が高すぎます。しばらくしてから印刷を再開してください。 プリンターと通信ができません。プリンターが接続されている場合は、USBリンクボタンでリンクしてください。 プリンターに装着されているテープの幅・種類が合っているか確認してください。 プリンター内にテープが詰まっていないか、テープ幅・種類が合っているか、テープが終了していないか確認してください。 指定のプリンターが接続されていません。プリンターを確認して、もう一度印刷を実行してください。 ● ドライバーのポート指定が MULTI-USB PORTの場合： その機種がどのポートにも接続されていません。プリンターをUSBポートに接続してください。

エラーメッセージ	対処方法
確認してください	● ドライバーのポート指定が MULTI-USB#1_2などの指定の場合： その機種が指定のポートに接続されていません。他のポートに接続されていても指定のポートに接続されていなければ、このエラーが出ます。指定のポートにプリンターを接続してください。ポート指定の確認はWindowsXP/2000の場合はプリンタープロパティのポートタブで、WindowsMe/98の場合はプリンタープロパティの詳細タブの印刷先のポートで確認できます。 接続されているプリンターが指定のものとは違います。プリンターを確認して、もう一度印刷を実行してください。 ● ドライバーのポート指定が MULTI-USB PORTの場合： このエラーは出ません。 ● ドライバーのポート指定が MULTI-USB#1_2などの指定の場合： 指定のポートに接続されている機種が違います。指定の機種プリンターを接続し直してください。
プリンターの電源が消耗しています。印刷を続行しますか？	印刷継続ボタンを押して印刷を行なうこともできますが、電池が消耗した状態で印刷を続けるとプリンターの電源がOFFします。プリンターの電池を交換するか、電源アダプターを接続して印刷してください。
プリンターが接続されているパソコンから応答がありません。プリンターが接続されているパソコンで印刷状況を確認してください。	パソコンにつながれたプリンターがネットワーク上にある場合に表示されます。プリンターが接続されているパソコンで印刷状況を確認してください。

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2